

【平成28年12月10日（土）開催分】

説明会 開催 結果	開催日時	平成28年12月10日（土）14：00～15：45
	開催場所	会場の名称 厚木市立依知南公民館集会室 会場の所在地 厚木市下依知3-1-7
	参加人員	参加人員 31人
	事業者側の主な出席者	厚木市(まちづくり計画部都市計画課、環境農政部環境施設担当) 厚木愛甲環境施設組合【説明者】
	説明会の経過及び概要	14：00 開会 ・代表者挨拶 ・関係者紹介 14：05 環境影響予測評価実施計画書の概要説明 (パワーポイントにより約30分説明) 14：40 質疑応答 (主な質問・要望と回答は下記のとおり) 15：45 閉会

主な質問・要望	回答
現センター近隣に住んでおり、窓を開けると煙突からの煙が入り、体調が悪くなる(頭痛がする)。相模原のように煙突を高くしてもらいたい。煙突が周辺から見えていても構わないと思う。	煙突を高くすると排ガスの濃度は薄まりますが、景観上問題となることもあるため、今後、他の住民の方々のご意見も踏まえて検討します。また、複数の高さで影響予測や評価を行う予定です。
災害時に県外や放射性物質を含むごみを受け入れることはないか。	厚木市、愛川町、清川村のごみを処理する施設として計画しており、原則として県外からのごみは受け入れません。
なぜこの場所に決定したのか伺いたい。	平成23年7月に金田地区を建設候補地として選定させていただきました。その後、数回の説明会や地域自治会の皆様や環境保全委員会の皆様と何度もお話をさせていただいた上で、金田地区の住民の方々と基本協定書を締結して場所を決定しています。
災害廃棄物のトレーサビリティは確保できるのか。	災害時なので、全ては追い切れないと思います。
環境影響評価を行うタイミングが分からない。実施区域の選定時にはなぜ実施していないのか。	実施区域の候補地を決め、施設の規模を検討した結果、環境影響評価を実施する規模要件となる見込みとなったため、神奈川県条例にしたがって、このタイミングでの環境影響評価の実施となりました。
金田地区では、環境省が実施しているダイオキシンの測定結果と比べて濃度が高いという結果が出ており、現センターが30年近く稼働してきた結果ではないかと考えている。また、土地の利用履歴により土壤汚染濃度が変わると思うが、どの場所で土壤採取を行うのか。	実施区域内では、30年間の蓄積状況を把握できるよう、耕起等の影響の無い箇所を選定して土壤の採取を行う予定です。また、周辺の調査地点としている小中学校のグラウンドも同様に蓄積状況を把握できるのではないかと考えています。
運用の委託業者はISO14000sを取得した業者を選定し、施設稼働時の品質をしっかりと確保していただきたい。	業者の選定時に対応させていただきます。

主な質問・要望	回 答
自治会長等、住民代表と合意を得たと言っているが、承知しておらず、地域住民としては合意形成できていないと認識している。その旨市長に伝えてほしい。	金田地区の住民の方々と基本協定書を締結して場所を決定しています。
なぜ金田に決まったかが明確ではなく、勝手に話しが進んでいると感じている。	平成23年7月金田地区の皆様にお話した内容は、候補地として選定したということ。その後、地域の自治会の皆様や環境保全委員会等と複数回の話し合いをしています。
ダイオキシン類が蓄積されているという事実不安を感じる。集水枡等の集まり易い所で測定を行ってほしい。	意見書として提出いただければと思います。
土壌や悪臭の調査地点を増やしてほしい。	意見書として提出いただければと思います。
鳥、昆虫は動き回るので調査をやる意味がない。緑地を生物の生きる場にして、住民が観察できるようにしてほしい。	意見書として提出いただければと思います。
結果だけの情報開示だけではなく、正しいプロセスで行われてこそ評価できるので、そのような体制をつくってほしい。	ご意見承りました。
協定書では公園をつくることになっているが、海老名側には出来て、厚木側に出来ないのはなぜか。	堤内地は神奈川県より都市公園整備が困難であると回答が来ています。堤内地の3.8haは厚木市にゆだねられており、災害廃棄物一時保管場所の機能を持った緑地として整備し、平常時は地域住民の方に利用していただけるものになります。
関係車両の走行ルートが2つしかない。河川堤防上のルートは構わないが、小学校近くや金田東側のルートは使ってほしくない。また、交通の調査は複数回行ってほしい。	意見書として提出いただければと思います。